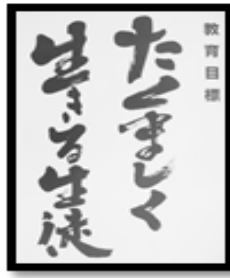




令和5年
6月9日 発行

第 2 号
(担当 谷川)



翔舞×勝負～今夏の5色の物語～

5月17日(水)に令和5年度東風祭が行われました。雲一つない青空のもと、各学年が赤・青・黄・緑・橙に分かれ、縦割りによる5軍を編成しました。新型コロナウイルスによる制限が緩和され、生徒は思い切り声を出し、元気いっぱいグラウンドを駆け回りました。どの軍も、学級の仲間や異学年どうしの交流を通じて団結力が高まり、一人一人の大きな成長が見られました。

「3年間で1番の東風祭」

今回の東風祭は、僕の中で1番の東風祭でした。競技ではどの種目もどの軍が勝ってもおかしくないくらい白熱していました。また、応援では例年とは違い音源の使用が不可になった中、去年や一昨年と比べられないくらいとても迫力がありました。パネルは昨年よりも一週間ほど短い中、本当に素敵なパネルが出来上がりました。こんなにもすごい東風祭の代表ができたのは本当に自分の誇りだと思っています。そして、この東風祭を作ってくれた全校生徒の皆さんにはとても感謝しています。ありがとうございました。

東風祭実行委員長 3-3 平岩 蒼空さん



「東風祭で学んだ多くのこと」

東風祭が終わった直後、思いが込み上げてきて泣いたのを今でも鮮明に覚えています。軍団長に任命されてからの1か月間は貴重な思い出になりました。自分で計画して実行することは思っていたよりも難しく、最初は上手いかない日々でした。ですがその度に支えてくれるクラスとリーダーのみんなのお陰で東風祭を無事迎えられたと思っています。本番でみんなが楽しんでいる姿を見て、頑張ってきて良かったこと、その頑張りにはみんなの支えがあったことを学びました。東風祭に関わるすべてのみなさん、本当にありがとうございました。

赤軍 軍団長 3-1 田中 祐月さん



「東風祭を終えて」

みなさんお疲れ様でした。みなさんは東風祭が終わってどんなことを思いましたか。僕は軍団長としてみんなが協力して全力で一つのことに取り組むことはすごく楽しく、とてもやりがいがあるということです。今年は準備期間が短くものすごく大変でした。準備が完璧ではない状態で軍団練習が始まってしまい不安を感じていたけれど、みんなが全力で楽しんでいたのですぐに不安はなくなり、とても自信ができました。今回総合優勝はとれなかったけれど、どの軍よりも笑顔があふれていてとても楽しめました。本当にありがとうございました。檸檬最高!!

黄軍 軍団長 3-2 橋本 哲太さん



「最後の東風祭」

みなさん東風祭お疲れ様でした。今年は準備期間がとても短く、リーダーたちも次々とアイデアを出して、準備をがんばってきました。競技もパネルも軍団一丸となって助け合って進めてきました。当日は私達の努力を応援するように、空は快晴、最高な幕開けでした。競技中は全軍が白線から飛び出るほど身を乗り出して応援していました。午後の応援合戦も各軍とも工夫が詰まった最高の4分間でした。我々緑軍の過去一番の最高の応援ができました。緑軍は全員が一丸となれる最高の軍でした。僕にとって中学校最高の思い出になりました。

緑軍 軍団長 3-3 瀬賀 義斗さん



「忘れられない思い出」

僕は先輩に憧れをもち軍団長になりたいと思っていました。応援活動が始まると予想以上に大変で、自分が前に立って引っ張っていけるか心配でした。でも、14人の応援団と青軍の先生方がいたので、最後まで楽しく笑顔でやりきることができました。最初の青軍のみんなは表情が硬く緊張していたり、恥ずかしがったりしている人がたくさんいました。そこで、僕は「笑顔で全力で楽しもう」と言い続けました。東風祭当日、最初から最後まで青軍のみんなが笑顔で取り組んでいた姿は一生忘れられません。青軍のみなさんありがとうございました。

青軍 軍団長 3-4 小田 晏士さん



「最高の東風祭」

みなさん、東風祭お疲れ様でした！東風祭からもうこんなに経つのかと思いながらも内容はまるで昨日のこのように覚えています。僕が軍団長に任命された時、本当に自分に務まるのかと不安な時がありました。だけど、応援団長や副応援団長と一緒に活動しているうちにその気持ちは消えました。応援リーダーのみんなもふざけたりせず、真剣に取り組んでくれました。当日は、競技は思うようにはいきませんでした。パネル・応援ともに準優勝を獲れたので悔いはありません。この東風祭は忘れられない最高の思い出になりました。本当にありがとうございました。

橙軍 軍団長 3-5 小山 悠さん



【総合】

優勝 緑軍
準優勝 青軍

【応援の部】

優勝 青軍
準優勝 橙軍

【競技の部】

優勝 緑軍
準優勝 青軍

【パネルの部】

優勝 黄軍
準優勝 橙軍



「力の東新」を合い言葉に！

6月12日(月)・13日(火)に陸上競技、サッカー、ソフトテニス、6月19日(月)・20日(火)にその他の競技で、新潟市中学校体育大会が行われます。この大会を勝ち抜くと上位大会につながります。それだけに、特に3年生には特別な思いがあることでしょう。強い気持ちで全力で戦ってきてほしいと思います。各部代表の意気込みを紹介します。

「チームの勝ちへ」

サッカー部 3-1 小片 天翔さん
私たちサッカー部は1回戦で昨年度の県大会優勝の小針中学校と戦います。1回戦目で強豪校と試合をすると知ったときはチーム全員が不安な気持ちになりました。しかし、今はチームで勝ちにいくといった強い気持ちで練習ができています。今までの練習の成果を発揮できるよう残りの時間も大切にしています。そして自分たちに悔いが残らないよう、精一杯戦ってきたいと思います。

「目標へ」

女子ソフトテニス部 3-4 石黒 真央さん
私たち女子ソフトテニス部の市内大会での目標は、県大会出場です。そのために、チームワークを大切に、声を掛け合って練習に励んでいます。新人戦や練習試合の結果を受けて、その反省を次へ活かせるように頑張ってきました。沢山練習してきた今、出せる全力を出し、最後まで諦めずに楽しんで大会に参加しようと思います。

「市内大会への意気込み」

男子バドミントン部 3-5 渡辺 汐葉さん
私たちは、市内大会で試合に勝てるように日々練習を積み重ねてきました。辛い練習のときは、みんなで声を掛け合って努力してきました。3年生は最後の大会です。悔いのないよう最後にいいところを見せて後輩にバトンを繋げましょう。県大会出場を目指し多くの方々に支えられて活動できていることへの感謝の気持ちを大切に全力を尽くします。

「自分を越えるために」

陸上競技部 3-1 桑原 寛至さん
僕たちは「前回までの自分と記録を越える」ために練習に一生懸命に取り組んできました。市内大会では丁寧に教えてくれた先生方や、支えてくれた人たちに感謝し、一人一人が練習の成果を発揮して、成長を加速させたいと思います。そして自己ベスト更新、県大会出場を果たせるよう全力で戦ってきます。

「たった一つの目標に向けて」

男子ソフトテニス部 3-4 田邊 春樹さん
私たち男子ソフトテニス部は、新人大会が終わった後からずっとこの大会を勝ち上がり、県大会出場を目標に練習してきました。1年前は、他の学校になかなか勝てず、思うようなプレーができませんでした。しかし、基礎練習に加えて、相手を崩すための展開などを練習し、試合のためにその作戦を試して他の学校に通用するようになってきました。今まで関わってくれた全ての人に感謝しながらプレーをしたいと思います。

「感謝」

野球部 3-2 高橋 佑羽さん
僕たち野球部は、県大会に行くことを目標に去年から日々練習を重ねてきました。入部からこれまでの期間、楽しかったことや苦しかったことがありますが、最後はこれまで関わってくくださった方々に感謝しながら、悔いが残らないように全員全力でプレーしてきたいと思います。

「最後の大会」

女子バドミントン部 3-5 望月 結生さん
市内大会まで残りわずかとなりました。私の目標は、「諦めずに最後までやり切る」です。他の部員もみんな自分の目標を達成できるようにがんばっています。緊張感をもち、諦めずにシャトルを追いかけたいです。3年生にとって最後の大会です。悔いのない試合にし、全力で楽しみががんばります。



「目標に向かって」

バレーボール部 3-2 田中 珠さん
私たちは市内大会で「試合で全力を出しきる」という目標をもって練習しています。練習では、一人一人が声を出すことや、チームで連携をうまくすることなどを頑張っています。市内大会当日、今まで頑張ってきたことを発揮し、悔いの残らない試合をしたいです。

「このチームでできること」

女子バスケットボール部 3-1 森本 小夏さん
私たちはこれまで県大会出場を目標に活動してきました。最初はチームの方向性が決まらず、上手くいかない時期もありました。けれど私たちは全員で意見を出して話し合ったり、教え合ったりして自分たちでチームを作り上げてきました。このチームの強みは一人一人に協調性があることです。試合では自分たちの実力を十二分に発揮し、精一杯戦ってきます。

「内容の充実を目指して」

柔道 2-3 渡邊 愛心さん
去年の市内大会では中学校に入学し、初めての大会ということでとにかく相手に勝つことを考えていましたが、今年度は新一年生も大会に参加し、自分も追われる立場となりました。今まで練習してきたことを発揮し、優勝できるようにがんばりたいです。一戦一戦集中して試合に挑み、結果だけでなく試合の内容も満足できるものにしたいです。

「大会への意気込み」

剣道 2-5 伊藤 瑛太さん
僕は久しぶりの試合なので、練習してきた成果を出し切って一試合でも長く試合ができるようにがんばりたいです。去年は、大会が多かったけれどあまり良い結果が残せていないので、今回は去年の経験を活かして自分の全てを出し切って勝てるようにがんばりたいです。

昨日の激励会には約100名の保護者の方々からご参加いただき、子どもたちへの大きな励みとなりました。応援ありがとうございました。大会当日もよろしくお祈りします。

「目標に向かって全力籠球！」

男子バスケットボール部 2-5 阿部 葵さん
僕たちは、昨年度の新人大会でうまくできなかったところを修正し、今まで練習してきた動きをしっかりとやり悔いの残らない試合ができるよう精一杯頑張ります。そして、3年生は最後の大会なので、できるだけ多くの時間一緒にプレーできるように頑張ります。

「市内大会に向けて」

卓球部 3-2 鈴木 勇氣さん
僕たちは、6月の市内大会に向けて、試合形式の練習を普段より多くメニューに入れてきました。また、他校との練習試合をしたりして、とにかく試合をたくさん経験することで、大会でも本来の実力を出せるように準備してきました。今大会は団体戦で県大会に行くことが目標です。全力を出して悔いの残らないように、チーム一丸となってがんばります。

「感謝の気持ちを忘れずに」

硬式テニス 3-1 神林 奏さん
私たち硬式テニスは、市内大会ベスト8以上を目指します。前回の大会では悔しい思いをしたので、この大会のために一生懸命に練習してきました。大会を開いてくださる関係者の皆様への感謝の気持ちを忘れず、今まで練習してきたことを発揮できるようにいい準備をして悔いの残らないよう大会に挑みたいと思います。

「2度目の大会」

水泳 3-4 半内 美羽さん
私は今年、2度目の水泳大会に出場します。私は去年はじめて新人大会に出ました。結果はあまりいいと思えませんでした。なので今年の大会では自己ベストが出せるように体力づくりをしたり、水泳のコーチに直した方がいいところを確認したりして練習を頑張ってきました。緊張せずに大会に臨みたいと思います。